

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	99	事業名	食の健康推進事業 (中事業名) 健康づくり教室事業		担当課		健康推進課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-2-6 健康づくり教室事業		
					決算書ページ		150 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち						
		政策	3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進						
		施策	(1) 市民の健康づくり						
	その他	開始年度	昭和59年						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可		
		根拠法令等							
		関連計画	長久手市健康づくり計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数：      61,381 【事業内容】  若い世代も含め年代に合わせた食に対する意識啓発を実施し、生活習慣病の予防を支援します。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
				【アクションプラン指標】 食に関する意識啓発の実施事業回数		食に関する意識啓発事業数の増加から、市民が自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む人が増える。  (成果指標名)  市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）		大事業共通  食に対する意識向上により、生活習慣病の予防効果が高まり、健康を意識した生活をおくるようになる。	
【その他の指標】									

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
		1	【アクションプラン指標】  食に関する意識啓発の実施事業回数	回	基準値	4	目標値	5	8	8	8	8		
					目標値	8	実績	6						
		2			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		3			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		4			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		エピソード	事業開始の背景	地域で食を通した健康づくりの活動や、地域住民に対する生涯を通じた食育の推進、地域住民に対するフレイル予防の推進活動を行っている。										
			各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
			R 6	食と健康を考える会に委託し、「親子で学ぶ朝食講座」「健康測定会」を開催した。また、農学校で「真菜」を使用した体験イベント「みそづくり体験会」「野菜収穫体験」も開催した。				R 7						
	R 8						R 9							

Ⅲ事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）

成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
	市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）		%	年度	▶	年度	▶	【現状】	5年度	▶	12年度	▶	17年度	
								74		80		85		
	成果達成状況						指標目標値の根拠							
	B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						20歳以上の成人全体では74.2%であるが、年代別で最も高い60歳代の現状値84.5%を成人全体の目標値として設定した。（アンケートは健康づくり計画の中間評価時と最終評価時に実施予定）						
評価の理由、分析														
市民全体の健康度をはかる指標としては「健康寿命」があるが、健康づくり計画の評価のために行う市民アンケートで、主観的健康観や健康を意識した生活をしているかを調査し、健康を意識する人を増やして、生涯にわたる健康の保持増進を図っていく予定である。														
加える変化（ACTION）	今後の方向性			今後の方向性の理由										
	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			食に関する意識啓発の回数について急な増加は難しいが現状の回数以上は実施していきたいため。									
	改善ポイント													
	（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
1	食に関する意識啓発の方法	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	同じ内容の啓発では効果が薄くなるので、毎年度内容を見直していく必要がある。									令和8		
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			508	404	511	373	511			
		理由			特定財源	合計額	35	61	69	115	226		
		講座実施に係る最低限の費用計上であり、現状額は確保したいため。				(内 国費)			32	78	78		
						(内 県費)	35	61	37	37	148		
						(内 諸収入)							
						(内 その他)							
		積算額			一般財源		473	343	442	258	285		
		健康教育講師等報償金 183千円 食生活改善事業委託 130千円 健康づくり教室事業委託 198千円			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
					健康教育講師等報償金 183千円（183千円） 食生活改善事業委託 130千円（130千円） 健康づくり教室事業委託 198千円（198千円）								